

一般曹候補生合格者を厚木基地見学へ



自衛隊神奈川地本市ケ尾募集案内所（所長 内山 2 空尉）は、10月9日（金）に一般曹候補生試験合格者10名を海上自衛隊厚木航空基地見学に招待し、自衛隊の仕事について理解を深めてもらうと共に、入隊意欲の向上を図った。当日は、台風14号の影響を受け、雨が強く基地見学が中止になる可能性もあり、不安であったが、予定通り実施できた。

初めに、厚木航空基地資料館において基地の歴史及び概要説明を受け、管制塔、地上救難、その後、第51航空隊の格納庫内にあるP-1哨戒機を見学した。管制塔では、航空管制隊の隊員が、クイズを交えながら業務内容や見学者たちに双眼鏡を使用させ基地全体の説明を行った。

地上救難では、海上自衛隊における地上救難の説明を受けた後、照れながらも消防服の試着及び消防車へ搭乗し、自衛隊の地上救難に対し興味津々であった。第51航空隊では、現役P-1パイロットより航空部隊の仕事内容や航空機整備について、真剣な表情で説明を受け真剣な表情で聞き入っていた。参加者たちは初めての自衛隊航空機に目を輝かせながら「自衛隊の飛行機をこんなに近くで見たのは初めてです」と機体に見入っていた。

終了後には「入隊後の職種選択の参考になりました」などの感想があり、入隊への気持ちを強めるために有効な見学会となった。

市ケ尾募集案内所では「今後も多くの対象者に見学会を計画し、入隊につなげたい」としている。

横須賀基地見学

「海上自衛隊の艦艇乗組員を目指したい！」

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原 1 陸尉）は、10月14日（水）、受験対象者を横須賀基地見学に案内した。

今回参加したのはこれから自衛官候補生受験を考えている対象者の男女2名で、広報官の呼びかけに応じたものである。今年11月に南極に向けての出港準備中の砕氷艦「しらせ」を岸壁から見学し、乗組員で気象長の村山 3 海佐が丁寧に説明してくれた。

次に特務艇「はしだて」を見学した後、最後に基地内にある資料館を見学し今回の横須賀基地見学は終了した。対象者は「砕氷艦や特務艇などを身近に見られて良かったです」「年齢的な不安もありませんが、海上自衛隊の艦艇乗組員を目指したいです」などと抱負を語ってくれた。

横浜中央募集案内所は、「今後もコロナ禍においては、自衛隊見学も個別の対応になるがなるべく多くの対象者を案内し、年度募集目標達成のために、更に努力していきたい」としている。



特務艇「はしだて」見学

（左から参加者の奈良さん、緒方さん）

砕氷艦「しらせ」見学（説明は、村山 3 海佐）